

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2715	申孝園ロータスヴィラ	(宗)国柱会	H28.1.19
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	B	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	B	C	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	C	C	2.3.7	C	C	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	C	非	6.2.5	A	A
1.2.2	B	B	2.3.9	A	B	6.2.6	A	A
1.2.3	C	B	2.3.10	A	B	6.2.7	B	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	B	B	2.4.1	B	B	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	B	B	6.3.1	B	C
1.4.1	C	B	2.4.3	C	A	6.3.2	B	C
1.4.2	B	C	2.4.4	A	A	6.3.3	C	B
1.4.3	A	C	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	B	3.1.1	B	B	7.2.1	A	A
1.4.6	B	B	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	B	A
1.4.8	B	B	3.1.4	B	B	7.3.3	A	A
1.5.1	A	B	3.1.5	B	B	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	C	B	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	C	4.1.2	B	B	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	C
2.2.3	A	A	4.2.1	B	C	7.5.2	A	A
2.2.4	B	A	4.2.2	B	A	7.5.3	A	A
2.2.5	B	B	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	B	7.5.5	B	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	B	C	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	B	7.6.2	A	A
2.2.11	B	C	5.2.5	A	A	7.6.3	B	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	B	C			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-4-4	各種感染症に対する予防マニュアルを策定し、感染症発症時の速やかな職員の対応に備えるとともに、感染症予防委員会を立ち上げ、感染症に関する情報共有とその予防に取り組んでいる。加えて、毎月1回、提携診療所の医師・看護師とホームの看護師・介護士がミーティングを行い、医師より季節ごとの感染症に対する注意点の指導を受ける等、組織的に感染症予防に取り組んでいる。
3-1-6	生活便利手帳の中で入居者へ多彩なアクティビティとそれが行われる場所を全館見取り図の中で紹介している。ゆったりとして展望が優れたカフェ、機能訓練やりハビリを行うリハビリ室、専用のビリヤード室、麻雀室等の娯楽設備、本格的な防音室となっている映画・音楽鑑賞室等、入居者の趣味に合わせて過ごせる設備が数多くあり、楽しく暮らせる空間が用意されている。
4-2-2	毎年、入居者に向けた「ロータスヴィラ生活便利帳」を発行し、月例行事やサークル活動の一覧、年間スケジュールをカレンダー形式で記載し周知している。それら様々なアクティビティは、職員をはじめ講師やボランティアが関わるほか、地域住民とともに楽しむ企画も取り入れており、担当職員による企画・実施・報告の業務サイクルの中で開催企画の提案や改善につなげている。
5-1-1	入居者の食事は、外部委託業者の栄養士によって献立が立てられ、提供されており、毎日3食全て、2通りの献立から選んで食す仕組みになっている。入居者には半月ごとに選んでもらい好みの食事を提供する他、正月や祭りなどのイベント食の際には季節を感じられる食材やメニューにより、バラエティーに富んだ食事の提供に努めている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-3	ホームとしての経営理念があり、ホーム内に掲示し、朝礼で唱和するなどその姿勢を周知している。加えて、入居者の個人情報保護や権利擁護についてもルールを設けて遵守するよう規定している。一方で、消費者への適切な情報提供や消費者保護に関する法令を定めた「自主行動基準」はなく、これらのルールを策定するとともに、職員研修により遵法の徹底を図る等の取り組みを期待したい。
1-1-4	現在、法人・ホームにおける中・長期計画はなく単年度計画についても明確になっていない。各部門の年度目標や財務面の計画を融合して、当面の達成すべき目標を明確にする等、年度の事業計画を策定し、計画と実績を比較検討して改善点を把握できる仕組みの構築が必要と思われる。次期に向けた事業計画の策定とその運用を検討されたい。
6-3-1	介護施設として必要とされる各種マニュアルはほとんど用意されていない。特に、介護業務の実践マニュアルは作成されておらず、入浴や排せつ・食事・移乗・移動など介護に必要な技術や手順をまとめた業務マニュアルの策定が急がれる。さらに、介護に関する知識や技術向上に資するための研修を行うとともに、職種や階層ごとにも実施する等、職員の資質向上に取り組まれない。
6-3-2	入居者の認知症に関して専門医に相談したり、事例検討を図っているが、職員に対して、認知症の入居者を正しく理解し、適切に対応するための研修は実施していない。今後、福祉の専門職として認知症介護の質の向上に資する力量を会得するために、認知症介護の理念や知識・技術等について、計画的な職員研修の実施が望まれる。